

NPO法人水道千葉の活動報告

NPO法人水道千葉
理事長 富田 正義

目次

1. NPO法人設立経緯

- ・ (1) 設立経緯
- (2) 法人の設立

2. 事業 7事業

3. 活動報告

- (1) 水道事業支援
 - 1) 中小事業体支援
 - 2) 水道普及促進支援
 - 3) 水道の啓蒙活動
 - ① 浄水場見学案内
 - ② おいしい水教室(水道出前講座)
- (2) 技術継承、情報提供活動・・・講演会
- (3) 水道使用者への改善支援活動・・・高齢者宅水周り点検

4. おわりに

1－(1)設立経緯

平成12年5月	千葉県水道局OB技術者親睦会「千葉会」発足 同会の目的が親睦の他に「千葉県水道事業の推進に協力すること」
平成15年8月	千葉会の水道事業支援業務を水道局と共に検討し、13項目リストアップ
平成16年1月	支援業務を担う実施組織としてNPO法人設立検討
6月	「(仮称)NPO水道千葉」設立準備会設置
12月	NPO法人設立による活動は、親睦会である千葉会から離れて、 改めて有志によって立ち上げ、運営することが適切との結論に至った
平成17年9月	有志によるNPO法人設立に関する懇談会開催 NPO法人活動の対象と会員は、千葉県水道局に限らず県内全体とする方針確認
12月	NPO法人設立発起人会開催 NPO法人設立総会開催
平成18年1月	法人格取得申請
4月	県知事によるNPO法人認証及び法人登記完了 法人成立の日 平成18年4月20日

1. 千葉県水道局統計資料集計表(各年度事業年報等より抜粋)

	昭和40年度	昭和45年度	昭和50年度	平成12年度
給水人口(人)	718,074	1,265,380	1,814,474	2,687,244
普及率(%)	74.9	84.9	92.6	95.3
一日最大給水量(m ³)	210,603	418,826	798,785	1,019,547
導送配水管布設延長(m)	1,484,327	2,708,359	4,315,106	7,945,392
技術者数(人)	350	561	812	843
参考	総職員数:人	658	970	1,430
	技術者職員比率	53%	58%	57%

＜平成12年度年齢構成別技術職員割合＞
(総数843人)

51歳～60歳	40%
41歳～50歳	34%
31歳～40歳	11%
21歳～30歳	15%

平成13年度から平成22年度の今後10年間に、技術職384名(現在の約45%)退職する。

1－(2)法人の設立

(目的)

第3条

この法人は、水道に関する豊富な知識と経験を有する会員相互の協力により、千葉県民及び水道事業体に対して多様化した水道のニーズに適確に応えていくため、水道普及活動、技術継承活動、水道災害支援活動等を行い、よって、水道サービスの充実を図り、県民の福祉に寄与することを目的とする。

N P O法人水道千葉「定款」より抜粋

2. 事業・・・7事業の推進

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る次の事業を行う。

- (1)水道普及促進支援事業
- (2)水道技術継承支援事業
- (3)水道事業の技術に関する紹介及びアドバイザー事業
- (4)震災時等の非常時における県民及び水道事業体への支援事業
- (5)水道使用者の水道に関する改善支援事業
- (6)水道の水源水質保全に関する支援事業
- (7)水道事業の技術に関する水道事業体等からの受託事業

NPO法人水道千葉「定款」より抜粋

(この「定款」の根拠は「特定非営利活動促進法第4条、第5条に基づく」)

3.活動報告

(1)水道事業支援

1)中小水道事業体支援

T市水道事業体支援

1.T市水道事業の概要

- (1)新東京国際空港に隣接し、人口は増加している地区である。
- (2)計画給水人口:53,000人 ・計画1日最大給水量:22,270m³
- (3)水源:地下水 7,500m³/日、用水供給受水 14,770 m³/日
- (4)平成22年度年間給水量:約400万m³
- (5)平成21年2月、給水場連絡管工事で事故があり大規模断水が発生した。

2.活動内容

* 平成21年度から会員2名で水道の技術等について指導並びに助言を行う。

- (1)場内連絡管修理、改良、更新工事
- (2)水道危機管理計画
- (3)各種マニュアル類の作成(浄水場運転管理、自家発電運転、機械台帳)
- (4)水道施設耐震化対策
- (5)漏水調査の計画
- (6)維持管理指針の策定

3.活動報告

(1)水道事業支援

2)水道普及促進支援

- ① 千葉県水道局では配水管布設工事が完了している地区の水道未使用者宅を訪問し、水道使用についての勧誘、及び意向を調査している。
当NPO法人はこれを受け、6名の会員が関わり支援した。

② 平成23年度の訪問戸数

1回目訪問 1,002戸・・(不在・・456戸)

2回目訪問 354戸

3回目訪問 108戸

③ 効果

1年以内に加入予定が30世帯、2～3年以内に加入予定が38世帯、5年以内に加入予定が13世帯、5年以内で合計81世帯の加入の意向が分った。

3.活動報告

(1) 水道事業支援

3) 水道の啓蒙活動

① 浄水場見学者案内

* 当NPO法人は千葉県水道局から浄水場の見学案内を受託した。

* 平成23年度は

・ 柏井浄水場(千葉市花見川区柏井町430番地)

・ 小学校 78校、193クラス、6,256名

・ 一般の人 7名

・ ちば野菊の里浄水場(松戸市栗山478-1)

・ 小学校 49校、148クラス、4,865名

・ 一般の人及び団体 615名

合計 11,736名

* 案内に際しては見学者に事故が起こらないように細心の注意を払うと共に分かり易い言葉で説明した。

3.活動報告

(1)水道事業支援

3)水道の啓蒙活動 ①浄水場見学者案内



3.活動報告

(1)水道事業支援

3)水道の啓蒙活動

②おいしい水教室(水道出前講座)

- * 千葉県水道局では「安全・安心・おいしい水づくりキャンペーン」の一つとして小学生、一般人対象に水道出前講座を実施している。
- * この活動を平成23年度も委託し、これを受けて水道の啓蒙活動に努めた。
小学校12回35クラス(生徒:1,143名、先生:40名、父兄:56名)、
一般向け水道出前講座18回(参加者:538名)で総勢1,777名
- * 平成23年度は特に3月11日発生した東日本大震災及び、福島原発事故による放射能問題から、水道水の安全性を確かめる機運が強く、若いお母様たちを中心として本講座を受講する人が多かった。
- * 水道出前講座に対する主な感想
 - ・水道局の皆様が安全のために取組んでいる事を聞き安心できた。
 - ・分りやすく楽しかった
 - ・安心して水道水を使うことが出来ると思う。
 - ・水道水を大切に使いたいと思う。

3.活動報告

(1)水道事業支援

3)水道の啓蒙活動・・・②おいしい水教室(水道出前講座)



3.活動報告

(2)技術継承、情報提供活動・・・講演会

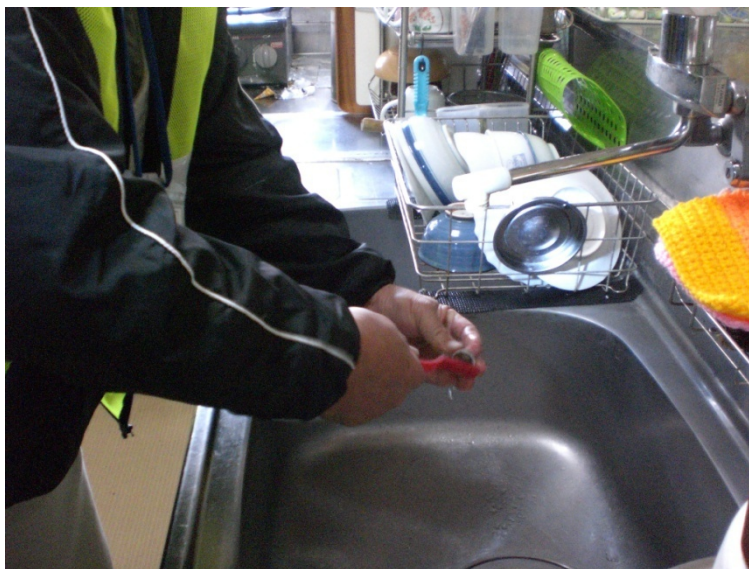
- 水道に関する技術継承、情報を水道関係者に提供する講演会活動
- 最近2年間の講演会
 - ・平成22年11月 「水質管理と浄水処理」
講師 名雪輝直(NPO法人水道千葉理事)
 - ・平成23年12月 「東日本大震災における水道被害と今後の課題」
講師 有村源介(水道ネットワーク通信代表)



3.活動報告

(3)水道使用者への改善支援活動・・・高齢者宅 水周り点検サービス

- ・ 宅地内の水道設備(給水装置)は、お客様(所有者)が適切に管理することになっているが、高齢者(概ね60歳以上)宅で、水周り点検サービスを希望する人に、会員がボランティア活動として行った。
- ・ 平成23年度は千葉市の老人会から要請があり、29戸を訪問し給水装置等の点検を行った。(漏水チェック、コマパッキンの取替え、蛇口フィルター清掃)



4. おわりに

(1) 中小水道事業体支援活動を行ってみて

(2) 水道啓蒙活動を行ってみて

(3) 講演会、水道使用者への改善支援活動を行ってみて

(4) 今後のNPO活動飛躍のために